眠り姫の怪人退治
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

うぼぁー！

貴方ですね
近辺の町に
迷惑をかけているという
異形のモノとは

ぼ ボクはァ

何者ですか？

怪人なんだなァ

怪人？

…奇怪な人間って意味ですか…？

どこから来たのですか？

知らないんだなァ
気付いたら
この世界に居たんだなァ

この世界…？
別の世界から来たって事ですか？

別の世界…
たぶん
そうなるんだなァ

貴方の目的はなんですか？

目的…
目的はァ…

!!?

今はとりあえず…
お前なんだなぁ
花騎士ネムノキ

う～…

地中に触手を潜ませていたなんて…

油断しましし…

!?

なんですか ここは…

このような不気味な場所早く抜け出さなくては…

あ 足が…抜けない…

グッグッ

肉塊にはミズウォルムの様な不気味な生物…

それに…スゴイ匂い…

ふしゅしゅ…
花騎士ネムノキ
ボクの地下洞穴へようこそ

こんな事もあろうかと
地中に身体の一部を
隠しておいて
正解だったんだなァ

この肉塊は
ボクの身体の一部だからァ
こうして自由に動く事も
できるんだなぁ

ぬぅ…

身体の一部？
この肉壁が…？

ベタァ…

わ 私をこんな所に
拘束して
どうするつもり
なのですか？

カプッ

ガブッ

そんなの…

決まってるんだなァ

ビリ

きゃっ!?

なにをしているんですか…止めて下さいっ

レロッ

ふひひ やめろって言われてやめる怪人は居ないんだなァ

眠り姫さまァ

ヒュル…

なっ!? なぜその呼び名を…?

むにっ

この世界の事を調べるついでに色々調べたんだなァ

くりくりっ

元女王様で今は春庭の平和を守る花騎士のネムノキ

やあっ

一般民衆からの好感度も高い…

怪人の獲物に相応しい相手なんだなァ

わ わたくしが相応しい…?

カプッ

レロッ

しロッ

姫様は怪人に無知だから
ボクの目的を
教えてあげるんだなァ

不気味な生物が
わたくしの
乳首を…

ちゅッ

ボクは可愛い女の子に
ザーメンを飲ませるのが
目的な怪人なんだなぁ

なんて
下品で淫らな
目的…

では…
あの肉塊から
流れ出てるのも…？

ん…

そんなボクは
身体のあちらこちらに
ザーメンを貯めて
おけるんだなァ

ちゅッ

ちゅッ

正解なんだなァ

それに姫さまが
今浸かっている
液体も…

やっ

この液体が
全て精液
なのですか…？

ふひひ…
おま○こが
ザーメンに浸ったら
大変だもんねェ

あ…

でもォ
その抵抗
いつまで
持つかなァ？

くぱっ

な なんですか
これ…

無数のイボイボが付いた生物…
それを私に…？
突起物を刺激する特別製の触手なんだなァ
ヌルゥ
しっかり耐えてね眠り姫さまァ
やあぁーっ

なんですかコレ…無数のイボイボがクリ○リスを刺激して
やっ
なにこれ…
姫さまァ気持ち良い？
やめっ
ヌッ
くちゅっ
ヌル
どうしたのかな？眠り姫さま淫らな声が出てるよ
おかしくなる…
このような不気味な生物に触れられるの嫌なのに…

腰が沈んで来たヨいいのかなァ？
ムリ
ヌルゥ
ピクッ
あっダメ…
ク○トリスがこんなに気持ち良いの初めて…あぁ…
簡単にイかされました…
姫さま今イッたよねェ？ボクの触手気持ち良かった？
ピクッ
そ そのような事…
ペロ…

はぁ…

はぁ…

でも いいのかなァ
そんなところで
イッたおま〇こ
パクパクしてぇ？

え…？

ぢゅくっ

ぢゅくっ

ダメぇ
膣内に精液が
流れ込んで来ます…

たぷんっ

ふしゅしゅ
美味しそうに
ザーメン飲んでるねぇ
これは妊娠したかなァ…？

なんて嘘ッ

長年備蓄してた
ザーメンだからね
腐って精子なんて
居なくなってるよ

いや…

だから安心して
いっぱい飲んでねェ

…本当ですか？

ピチャ

ピチャッ

ふしゅしゅ…
たぶんねェ

…だから

んっ…

あ…いやぁ…

ふしゅしゅ…
不気味なち〇ぽが
姫さまのおま〇こに
入って行くよォ

イボイボが
入口に引っかかって…

姫さまの大好きな
イボイボ付き
ち〇ぽだよォ

イボイボ
全部入れてあげるネ

ビクッ

ずぶ…

おんやァ

眠り姫さま
処女じゃないんだなァ
処女膜破りたかったのに
残念だなァ

ずずずず…

んっ…

こ 子供…？

いや…
そんなの嫌です…

ふしゅしゅ…
子作り始めるよ

でもぉ
初めての子は
ボクの子を宿す事に
なるんだなぁ

眠り姫さまのおま○こ気持ち良いんだなァ

やんっ

やっ

やだ…抜いて下さい…

抜く？それは無理なんだなぁ

ふひひ…そうだ姫さまァ

イボイボの付いた触手おち○ちんがわたくしの膣内を出たり入ったりしています

ズッ ズブッ ズッ

不気味なおち○ちんでわたくし…気持ち良くなってます…

やんっ

可愛らしいお口でこっちのち○ぽも気持ち良くして欲しいんだなァ

…え？こっちも…？

クイッ

くちゅ

[redacted]

んっ

これもおち○ちんなんですか…？

ンンーッ

ふしゅしゅちゃんとお口にも飲ませてあげるんだなァ

やだお口まで犯さないで下さい

んぷっ

[redacted]

ズチュッ ずぶッ

さすが姫様
口もお○んこも一級品
ボクは
ち○ぽが幸せなんだなァ

んっ

ちゅっ

ぐぃっ

にゅぷっ

むにゅっ

みちゅっ

くりくりっ

ずぷっ

お返しに
姫さまも気持ち良くして
あげるんだなァ

え？
待って下さい

触手おち○ちん
だけでも
限界なのに

にゅぷっ

ちゅぷ

ちゅっ

んんっ

気持ち良いところ
全部刺激されたら…

イクううう

んんーーっ

にぷっ

ちゅぷ

我慢出来ず
盛大に
イッたねェ

すぷっ

すぷっ

すにゅっ

眠り姫様の絶頂おま〇こピクピクして気持ち良いんだなァ

や止め…うぷっ じゅぷ…

ちゅぷっ

イッたばかりで敏感なのにズンズンしないでください

チュッ

ズチュ

頭…おかしくなる

うぷっ

言葉ではそう言っても口は触手チ〇ポを吸い続けるんだなァ

ズッ ズッ ズッ

生臭くて気持ち悪いのに…身体が勝手に求めるんです…

そんなに吸われちゃあ出ちゃうんだなァ

ドピュッ

んんーーっ

眠り姫様ボクの美味しいザーメン召し上がれ

ビュルル…

喉の奥に…生臭い精液出されて…嫌なはずなのに…

ふしゅしゅ…ボクのザーメン美味しいかった？

はぁはぁ…

…美味し…かった…です

ザーメン全部飲んでくれたんだね ボクのザーメン気に入ってくれた？

流されちゃいけないのに…

…はい 怪人殿の精液…大好きです…

ミュプッ

あん

ズチュッ

やぁ 嬉しいです…

んッ

素直になって来たね 眠り姫さま ご褒美上げるよォ

身体が快楽を求めています…

ミュル…

グッグッ

姫様の子宮口が無理矢理広げられてるのがわかるかな？

わかります…

わたくしの赤ちゃんの部屋…開いてます…

ふしゅしゅ

やん

ズッ

ズッ

ズッ

今からここにいっぱいザーメン出してあげるね

はい…怪人殿の精液お願いします

いっぱい射精してあげるね

ブルッ

いっぱい飲んで
ボクの子を孕め
眠り姫さまぁ

美味しい精液いっぱい
飲ませて下さい

あああぁぁあーっ

ドビュッ

そのおち○ちんで
わたくしを
犯してください

あんっ

ふしゅしゅ
もうボクの
チ○ポに夢中だねェ

いいっ

おち○ちん
大好きです❤

スケベな元女王様だねェ
いっぱいじゅぽじゅぽ
してあげるんだなァ

やんっ

いっぱい
じゅぽじゅぽ
して下さい❤

んっ

姫さま
どう気持ちいい？

あんっ

おかしく
なりそうなくらい
気持ち良いです

もっと気持ち良く
して上げるんだなぁ
姫さま
こっち向いて
ほしいんだなァ

はい…

んんっ!?

ブチュゥ

グイッ

ん…

グッ

ちゅっ ちゅー

んん…

こんな醜い怪人に唇を奪われる気分はどうかなァ？

ド変態な姫様にはご褒美だよねェ？

ズズズ

レロッ

おんや？姫さまぁ自分から舌を差し出して来たんだなァ

ちゅっ

グッ

レロッ

ん…あ…怪人殿ぉ…

あっ…

ちゅっ

レロッ

そんなにボクとベロチューしたいのかなぁ？

怪人殿…わたくし…おとなのキスで…頭…クラクラします

んっ…

ちゅっ

レロッ レロッ

ちゅぱっ

ちゅっ

んふ…

ふしゅううう 眠り姫様 顔がトロトロなんだなァ 好きなだけして上げるよ

ズッ ズッ ズッ ズッ

でも 今はここまで… また後でね

ちゅーっ

あ…

やあ もっとしたいです…

あんっ

キスよりも お待ちかねの ザーメンだよ

ザーメン ほしいよね？

ズッ ズッ ズッ ズッ

いいっ

ほしいです 精液欲しいです

やっ

身体中の精液 出して下さいぃ

出すよ姫様！
濃ゆいの
いっぱい出すよオォ

ドッ

ビュッ

はひゃああ
気持ち良い精液
出てますぅ

出る出る出る
いっぱい出てるんだなァ
眠り姫さまァ

ドッ

ビュ

ビュ

ビュッ

まるで身体中の
ザーメンが
出てるような…

あ あれ…
身体が萎んで…

しな…
しな…

ちょっと
待って…
何コレ…

わたくし
液体なら
操る事が
出来るんですよ？

精液だって…
この通り

体液で
こうして避妊
だって
出来るんですよ？

ア…

何はともあれ
討伐完了

ドリームプロジェクト

著者 － 夢ノ紫也
発行 － ドリームプロジェクト
印刷 －
ＨＰ － http://yumeno-s5.sakura.ne.jp/
pixiv http://pixiv.me/yumeno_shiya
twitter ＠Yumeno_Shiya
メール doripuro@yumeno-s5.sakura.ne.jp
2022年12月31日 初版発行